

1. バッテリー (AA)の確認 (裏面)



※必ず、スペアバッテリー (AA)を持参すること

電池消耗特性の関係で、(急な電圧低下を伴わない) アルカリ電池 (AA)を使用すること

※電池寿命 約100時間

※30日以上使用しない時は、電池を外しておく

青のチューブはサイズが合わない場合、軽く引っ張ると抜けてくることがあるので、そのような場合は別なチューブ (カヌーラ) に取り替えること

2. チューブの取り付け



穴の内部にはツメが出ている (ゴミ、異物がないことを確認)



カラーを押すとツメが引っ込む



そのまま、チューブを奥まで差し込み、手を離す  
※チューブを軽く引っ張って、抜



※赤のチューブ (4mm) レギュレーター赤の吸気口

※青のチューブ (6mm) 青の排気口→カヌーラ

3. カヌーラの装着法



フラップが下になるように持ち、吹き出



チューブを両耳にかける



あごの下でチューブを締める

4. 地上での作動テスト

全てのチューブを取り付け、カヌーラを装着。コントロールSW OFF

- ① 酸素ボトルのコックを開く ※圧力、漏れ (音) をチェック
- ② プッシュボタン (+) を押す…Nモードに
  - ・アラーム音 (約2秒間)
  - ・レッドライトの明滅
  - ・酸素が約0.5秒間、放出
- ③ 鼻呼吸に合わせて、パルス状に酸素が出ることを確認
  - ・グリーンランプ (酸素が出ている間)
  - ・酸素のパルスは鼻呼吸2回に1回の割合で出る ※強く吸い過ぎない

5. 上空で (モードの選択)

- ① Nモード: "Night" or "Now" mode
  - ・全ての高度で酸素を供給
  - ・気圧 (高度) に応じた適正流量
- ② Dモード: "Day" or "Delayed" mode
  - ・D5…5,000ftから供給開始、D10…10,000ftから供給開始
  - ・気圧 (高度) に応じた適正流量 (Nモードと同じ)
- ③ Fモード: "Face Mask" mode
  - ・全ての高度で酸素を供給
  - ・高度に応じた適正流量よりも、酸素流量を増加 (F5/F10/F15/F20の4段階)
- ④ R/Mモード: "Reserve/Manual" mode
  - ・全ての高度で酸素を供給
  - ・最大流量を供給
  - ・気圧 (高度) による流量補正はない

※カヌーラは装着状況によっては鼻からの漏れが大きく、N/Dモードの適正流量では通常、酸素不足に陥るので、要注意!

例: 高度10,000ftでF10にセッティングした場合、10,000+10,000=20,000ftを飛行するのに必要な酸素が供給される

6. アラーム

- ① バッテリーの不良: 1秒ごとにレッドライトが明滅。アラーム音なし。ユニットは動かない
- ② ローバッテリー (第1段階): 1秒ごとにレッドライトの明滅、アラーム音なし、ユニットは約4時間正常に動く
- ③ (第2段階): 1秒ごとに2回、レッドライトが明滅。アラーム音なし。ユニットは45-60分しか動かない。
- ④ PWR ON時: レッドライトの明滅、アラーム音…2秒間
- ⑤ 酸素供給 (適正) 時: グリーンライト点滅、酸素パルス音  
(異常) 時: 酸素が流れていない時には、レッドライトの明滅。2秒間、高低差のあるアラーム音が鳴る  
(主な原因: 酸素バルブ閉、供給ライン (チューブ) が濡れている/抜けている、機器内部のバルブ異常)  
酸素の吸引が検知されない時には、アンバーライト (琥珀色) が4回明滅。4秒ごとにアラーム音 (ピービーという音) が鳴る  
(主な原因: パイロットの呼吸が30秒程度止まっている…緊張している時などよく起こり得る、カヌーラチューブ (青チューブ) が抜けている)

7. その他の使用上の注意事項

- ・カヌーラのチューブ長を長くしたり、短くしてはいけない